

## 豪雨・融雪による土砂災害発生件数が過去 10 年で最大を記録 ～平成 29 年の土砂災害発生件数の速報値を公表～

国土交通省では毎年、都道府県等からの報告に基づき土砂災害※の発生件数を集計しており、今般、平成 29 年の土砂災害発生件数の速報値を下記のとおりとりまとめました。その結果、**平成 29 年の土砂災害発生件数は 1,467 件**で、過去 10 年で最大を記録した平成 28 年(1,492 件)に引き続き、今年も多くの土砂災害が発生しました。特に、**地震を除いた降雨・融雪に起因する土砂災害発生件数(1,462 件)は、過去 10 年で最大を記録しました。**

※ 土石流、地すべり、がけ崩れにより、家屋や公共施設に被害が発生した事象

1. 土砂災害発生件数は、全国で 1,467 件(過去 10 年で 2 番目に多い)。

4 年ぶりに 47 都道府県全てで土砂災害が発生し、**死者・行方不明者 24 名、負傷者 8 名、人家被害 694 戸**の甚大な被害が発生。**死者・行方不明者数、人家被害数では昨年を上回る結果となった。**また、都道府県別の土砂災害発生件数をみると、上位 5 県のうち 4 県において過去 10 年で最大の件数を記録した。【別紙 1】

表. 過去 10 年の土砂災害発生件数及び被害状況

年	発生件数	死者・ 行方不明者	人家被害数	年	発生件数	死者・ 行方不明者	人家被害数
平成 19 年	966	0	230	平成 25 年	941	53	413
平成 20 年	695	20	121	平成 26 年	1,184	81	504
平成 21 年	1,058	22	265	平成 27 年	788	2	117
平成 22 年	1,128	11	297	平成 28 年	1,492	18	317
平成 23 年	1,422	85	467	平均	1,051	31	307
平成 24 年	837	24	339	平成 29 年	1,467	24	694

2. 土石流等・地すべり・がけ崩れのいずれの現象も過去 10 年の平均発生件数を超える。

今回の土砂災害を現象別に見ると、土石流等 305 件、地すべり 165 件、がけ崩れ 997 件であり、特に**地すべりの発生件数は平成 23 年、がけ崩れの発生件数は平成 28 年に次いで過去 10 年で 2 番目に大きな値となった。**また、土砂災害の発生要因別でみると**地震を除いた降雨・融雪に起因する土砂災害発生件数が 1,462 件で過去 10 年の中で最大を記録。**【別紙 2】土砂災害が発生した箇所については、市町村等が土砂撤去や土のう積み等の応急対策を行うとともに、特に被害が甚大な箇所については都道府県等が緊急的な砂防工事等を実施しています。【別紙 3】

土砂災害に関する情報は、砂防部HP : <http://www.mlit.go.jp/mizukokudo/sabo/index.html>

(問い合わせ先)

国土交通省 水管理・国土保全局 砂防部保全課 土砂災害対策室

室長 國友 優(内線 36202)

課長補佐 赤沼 隼一(内線 36232)

代表:03-5253-8111 直通:03-5253-8470 FAX:03-5253-1611

○過去10年で最大を記録した平成28年に引き続き、今年も多くの土砂災害が発生。

○4年ぶりに47都道府県全てで土砂災害が発生し、**死者・行方不明者24名、負傷者8名、人家被害694戸**の甚大な被害が発生。死者・行方不明者数と人家被害数は昨年を上回った。

土砂災害発生件数

**1467件**

- 土石流等：305件
- 地すべり：165件
- がけ崩れ：997件

【被害状況】

- 人的被害：死者 21名
- 行方不明者 3名
- 負傷者 8名
- 人家被害：全壊 248戸
- 半壊 185戸
- 一部損壊 261戸

※これは速報であり、数値等は今後変わることもあります。

表1. 都道府県別の土砂災害発生件数 上位5県（速報値）

	都道府県	件数	過去10年平均	過去10年での順位
1位	福岡県	235件	18件	1位
2位	新潟県	193件	77件	2位
3位	神奈川県	129件	68件	1位
4位	大分県	89件	26件	1位
5位	秋田県	56件	8件	1位

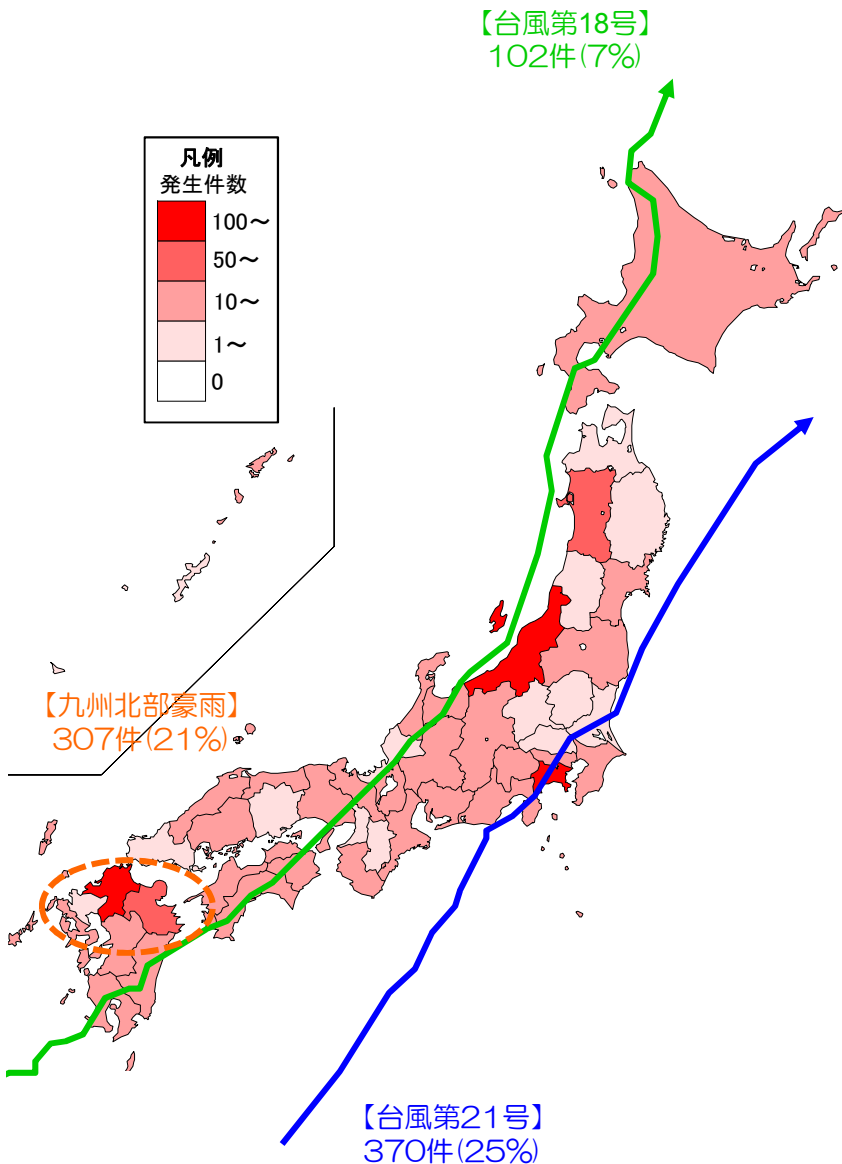
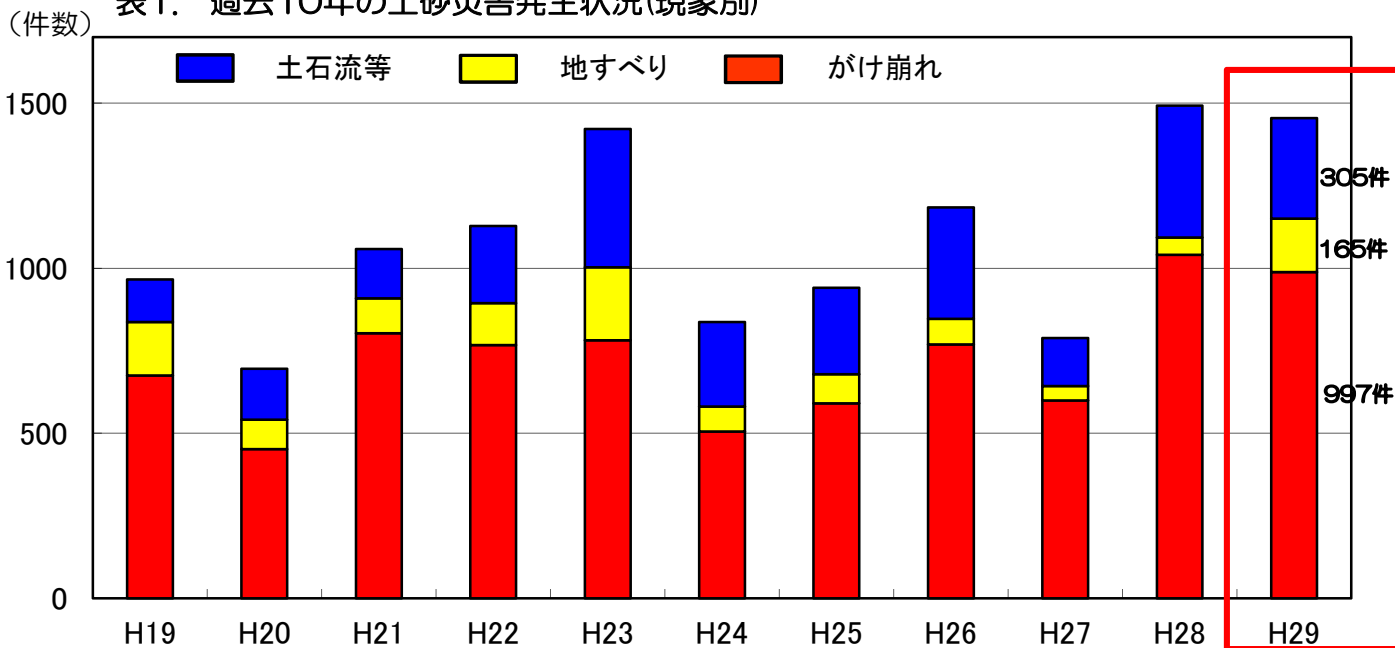


図.1. 都道府県別の土砂災害発生件数

○災害発生形態として、土石流等305件、地すべり165件、がけ崩れ997件であり、いずれの現象でも過去10年の平均発生件数を超えた。特に地すべりの発生件数は平成23年、がけ崩れの発生件数は平成28年に次いで過去10年で2番目に大きな値となった。

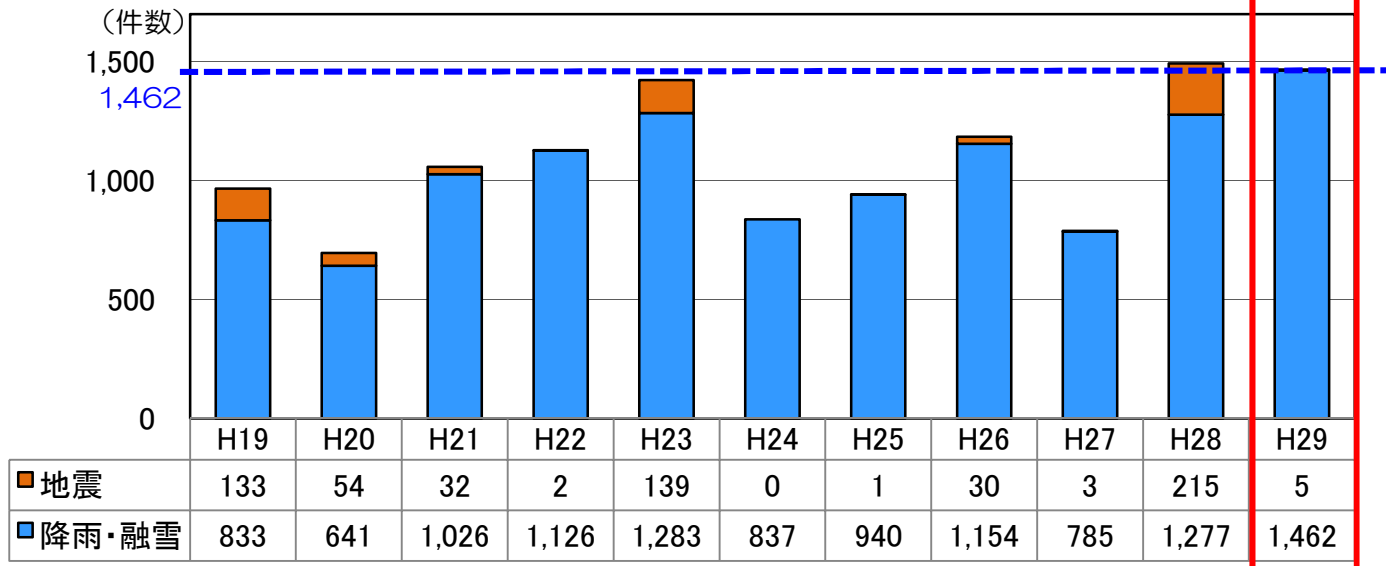
表1. 過去10年の土砂災害発生状況(現象別)



	土石流	地すべり	がけ崩れ	合計		土石流	地すべり	がけ崩れ	合計
H19	129	162	675	966	H25	262	89	590	941
H20	154	89	452	695	H26	338	77	769	1,184
H21	149	106	803	1,058	H27	145	44	599	788
H22	234	127	767	1,128	H28	399	53	1,040	1,492
H23	419	222	781	1,422	平均	226	121	700	1,051
H24	256	76	505	837	H29	305	165	997	1,467

○ 発生要因別で見ると地震を除いた降雨・融雪に起因する土砂災害発生件数が1,462件で過去10年の中で最大を記録した。

表2. 過去10年の土砂災害発生状況(発生要因別)



福岡県朝倉郡東峰村 本迫川  
(ワイヤーネット施工状況)

【被災直後】 8月



土石流の発生により、不安定な土砂や礫が堆積

【施工中】 12月



砂防堰堤を施工するために必要な応急対策として  
ワイヤーネットを設置

福岡県朝倉市 乙石川  
(遊砂地 施工状況)

【被災直後】 8月



大量の土砂が河道を完全に埋塞

【施工中】 12月



遊砂地を施工するために必要な仮排水路を設置